



## エピペンの使い方を説明する柴田さん

食物アレルギーの子を持つ親の会（本部・東京）主催のアレルギー教室が二十七日、あいぱーく光で開かれ、二百八人が参加した。

浅江一丁目のやまと  
小児科・アレルギー  
科（山手智夫院長）が  
昨年開いた『アレルギー  
ーつ子の会』百回記念  
講演会で、食物アレル

# アレルギー教室に二百八人参加 すべて除去せず、食べられる量を

アレルギー教室に二百八人参  
すべて除去せず、食べられ

加  
る量を

A black and white portrait of a man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie. He is looking slightly to his left and speaking into a handheld microphone. To the right of the image, the text "佐馬を語る三回戦" is written vertically.

シードミック死亡例の  
ハ割の原因食品に「ハ  
ウスタストの中にピー  
ナツツアレルゲンが入  
つていることもあるの  
で、日ごろから清潔に  
して、スキンケアも大  
切です」と述べた。

新の会は「人」と「情報」を主軸に、一人ではない心強さと知り合えたことの大切さが分かりました。アレルギーについても、育てたことで、食環境に目を向ける上

子のことは、定員をオハ  
る三十七人の応募が  
り、抽選で選ばれ  
十五人と子供六人が  
加。ヘルスケアブ  
エクト（広島市）のサ  
森陽子代表の指導  
アレルゲン食品を学  
べる「くいす」

立病院機構福岡病院 小児科医の柴田瑠美子さんが『食物アレルギー成長とともに考える対策』を負荷試験とエピペントと題して話した。アレルギーの中でも食物アレルギーの患者が増えており、アレルゲンを含む食品の増加

治療薬があるが、アレルギーは治療薬がなく、基本は自然治癒。食物年齢によつてアレルギーとなる食物の順位が変わり、子供のころは①卵②乳製品③小麦の順だが、大人になると①小麦②甲殻類。「すべて除去するのは家族に

まだ注意したい食  
品がピーナッツとナツ  
ツ類。米国では約三百  
万人がピーナッツ・ナ  
ツツアレルギーで、小  
児でアナフィラキシー  
(短時間に全身にあら  
われる激しい急性アレ  
ルギー反応)が増加し  
ており、アナフィラキ

柴田さんが太ももの外側に正しく注射する方法を説明した。

シトシミヤク死亡例の  
ハ割の原因食品に「ハ  
ウスダストの中にピ-  
ナツツアレルゲンが入  
つていることもあるの  
で、日ごろから清潔に  
して、スキンケアも大  
切です」と述べた。  
また、アナフィラキ  
シーの症状を一時的に  
緩和する補助治療剤  
『エピペン』の使い方講  
習も。練習用のエピペ  
ンが参加者に配られ、  
皆日本語で下さるつと

新しい会員の方々と一緒に、お話しする機会がございました。そこで、アレルギーについての話をうながすと、お子様がアレルギーで苦しんでいたり、アレルギーの心配があるお母さんたちが、多くお見えになりました。そこで、アレルギーについての講義を行なうことになりました。

「人間で、どうを教えてくれるか」といふと、アレルギーの問題で、人と比較することはありません。そのうえ、ベースに合わせて、つくり、少しづつ会員の物を増やしていくべき良いと思いまど、アレルギーを持つ親たちへエールを送つた。

森陽子代表の指導  
アレルゲン食品を  
たお弁当と給食作  
取り組んだ。